

税金で守られる日常

学校法人大谷学園横浜隼人中学校 3 学年

佐藤 廉恭

税金で守られる日常

学校法人大谷学園横浜隼人中学校 3 学年

佐藤 廉恭

車までも税金でまかなわれていると知って驚いた。もし税金がなかったら、私たちの安全で便利な生活は成り立たないのかもしれない。

思い返せば、自分が幼いころに大きな台風が来て、近くの川が氾濫しそうになったことがあった。夜中まで消防団や自衛隊の人たちが作業してくれて、翌朝には道がきれいになり、私は普段通り学校へ行くことができた。その裏には多くの人々の努力と彼らを支える税金の力があつたのだと、今になって強く感じる。

去年の秋、学校の帰り道で大きな消防車を見かけた。赤い車体にサイレンを鳴らしながら走るその姿は、とても力強く、安心感を与えてくれた。あとで母にそのことを話すと、「ああいう車も、消防士さんの活動も、税金で支えられているんだよ。」と教えてくれた。税金という言葉はテレビのニュースで耳にしたことはあつたけれど、その時はじめて「自分の生活とつながっているんだ。」と言葉にした出来事だった。

それから意識して周りを見てみると、税金で支えられているものが驚くほど多いことに気づいた。毎日通う学校の教室や黒板、図書館の本、遊んでいる公園の遊具、通学路にある道路や橋。どれも当たり前のように使っていたが、その裏には税金の存在がある。さらに、病院で使われている機器や薬、救急

それから意識して周りを見てみると、税金で支えられているものが驚くほど多いことに気づいた。毎日通う学校の教室や黒板、図書館の本、遊んでいる公園の遊具、通学路にある道路や橋。どれも当たり前のように使っていたが、その裏には税金の存在がある。さらに、病院で使われている機器や薬、救急

さらに、病院で使われている機器や薬、救急

さらに、病院で使われている機器や薬、救急

